

<お知らせ>

2009年3月

## 志賀高原「バンダイナムコの森」でグループ社員が“冬体験”活動を実施

株式会社バンダイナムコホールディングス

バンダイナムコグループでは3月25日に長野県志賀高原の「バンダイナムコの森※」でグループ社員約20名による“冬体験”活動を実施しました。

今回の“冬体験”では、自然体験としてバンダイナムコの森およびその近辺を約3時間スノーシューで歩き、冬の厳しさや生態系の様子を観察したほか、かまくら作りを行いました。またその後参加者により今後の「バンダイナムコの森」での活動についてや、地域交流活動について議論を行いました。

バンダイナムコグループは、「夢・遊び・感動」を世界中の人々に提供し続けることを企業理念とし、「夢・遊び・感動」を提供し続けるためのCSR基本方針を定めています。今後もこの方針にのっとり、バンダイナムコグループらしい様々な活動に取り組みます。



※「バンダイナムコの森」 2007年4月より長野県が橋渡しを行い森林の整備と利用に意欲を持つ企業と連携して推進する「森林（もり）の里親契約」を（財）下高井郡山ノ内町和合会との間で締結。志賀高原（長野県山ノ内町）の約47ヘクタールの森林の里親となり、森林整備作業の費用を一部負担するほか、森林保護と理解に繋がる各種活動の場として活用しています。